

河北新報

3月31日(日)

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号 980-8660)

「東」は未来



電話 (022) 211

読者相談室 1447

報道部1127 販売部1304

スポーツ部1130 営業部1318

夕刊編集部1145 営業管理部1312

生活文化部1132 事業部1332

総合案内 (022) 211-1111

ご購入申し込みは

0120-89-3746



ゴールめがけてロボットにシュートさせる発明クラブのメンバー

ロボット操作技術
小学生20人が競う

仙台で大会

仙台市青葉少年少女発明クラブの「第6回伊達泰宗杯こどもロボコン大会」が30日、泉区の東北生活文化大で開かれた。

仙台市などの小学4～6年生のメンバー20人が、1年間かけて作った自動車型ロボット「楚天(ぼんてん)丸」と「足

歩行ロボット「ロボビー」を使い、ゴールをめがけてボールを蹴ったり、前転や後転させたりする操縦技術を競った。

狙い通りにシュートやパフォーマンスが決まると、応援した父母らから大きな歓声が上がった。参加した仙台市通町小6年村井優太君(12)は「プログラマーになるのが夢。教室で学んだことは、将来に生かしたい」と話した。